

# 令和5年度宮城県商店街実態調査結果

## 1 調査の目的

商店街の景況や空き店舗の状況など、商店街の実態を把握し、今後の商店街活性化施策の基礎資料とする。

## 2 調査の概要

- 【調査対象】 宮城県中小企業団体中央会、商工会議所及び商工会が把握している商店街組織  
※本調査における「商店街」とは、「小売業等の店舗が主体となって街区を形成し、何らかの組織（法人格の有無、その種類を問わない）を形成しているもの」をいう。
- 【調査方法】 宮城県中小企業団体中央会、商工会議所及び商工会を通じて調査対象に調査票を配布・回収
- 【調査基準日】 令和5年10月1日
- 【調査項目】 店舗数と業種構成、商店街の景況と課題、後継者問題、空き店舗の状況と活用、商店街の活性化に向けた取り組みと課題 等
- 【調査数】 調査票配布数：175、うち回答数：166（回答率94.9%）

### （本書の見方と注意点）

- ・この調査はアンケート方式により実施しているため、回答のない商店街は集計に反映されていない。よって、営業店舗等の数については、県内の実際の店舗数等とは一致しない。
- ・表中の比率（%）は、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、率の合計値が100%にならない場合もある。
- ・複数回答については、回答者数を母数とし、比率を算出している。したがって、率の合計値が100%にならない場合もある。

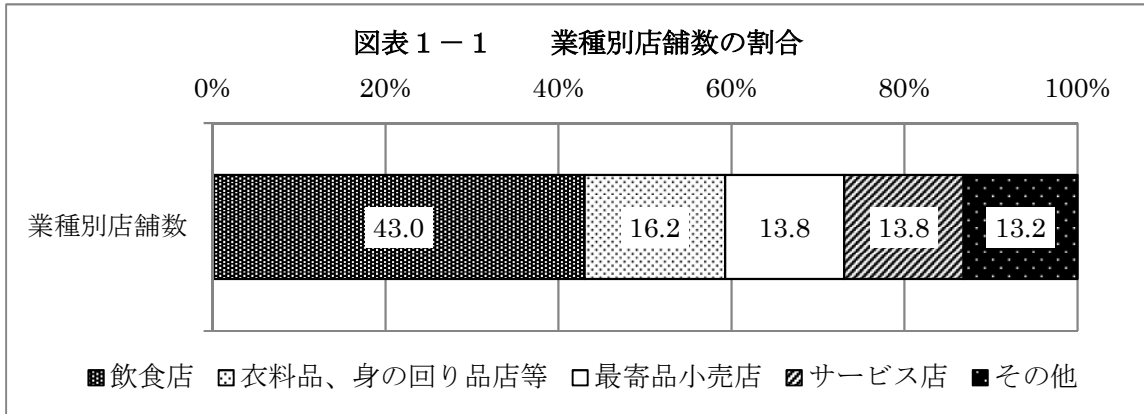
## 3 調査結果の概要

- 1商店街あたりの平均営業店舗数：36.3店（前回調査比▲3.1店）
- 「衰退」又は「やや衰退」と回答した商店街：78.0%（同▲10.1ポイント）
- 1商店街あたりの空き店舗数：3.6店（同▲0.2店）  
空き店舗率：8.8%（同+0.4ポイント）
- 商店街が直面している問題は、「後継者不足」（69.9%）が最多。次いで「商圈人口の減少」（49.4%）と、回答率が高い項目順位は前回調査と同じ。
- 後継者がいない店舗は、営業店舗数の3割となっている。
- 買い物弱者を対象とした取り組みについて、約7割の商店街が「実施していない」としているが、移動販売サービス等に取り組む商店街が増加している。
- 行政に対して望むことは、「イベント等の賑わい創出への支援」（47.6%）、「空き店舗対策の支援」（31.9%）、「商店街活動の新たな担い手の育成」（28.3%）、「商店街活性化のためのビジョン策定支援」（24.1%）となっている。
- 新型コロナウイルス感染症流行対策や売上回復の取組状況については、「特になし」（40.4%）が最多。次いで「感染予防策を講じたイベントの実施」（28.3%）となっている。

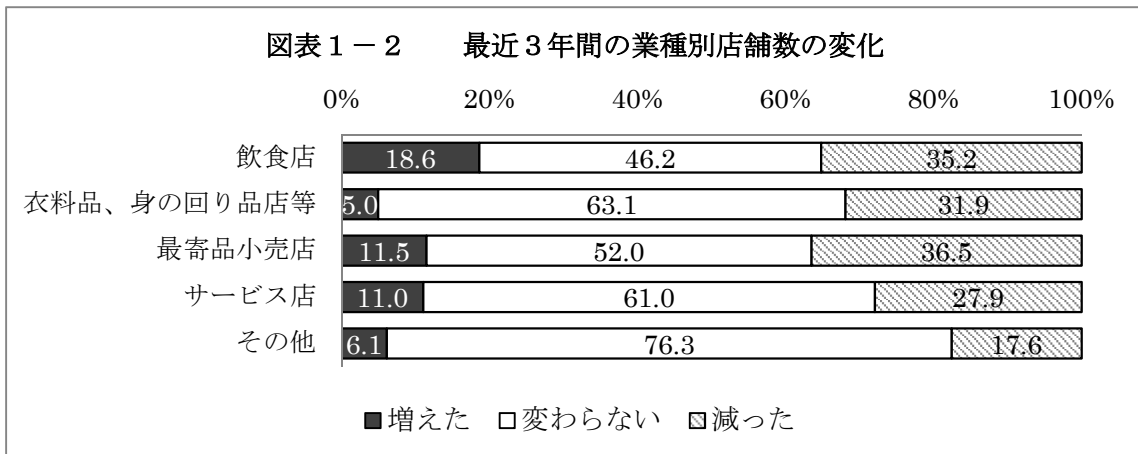
## 4 調査結果

### (1) 店舗数と業種構成

- ・ 1 商店街あたりの平均営業店舗数は 36.3 店で、前回調査の 39.4 店から 3.1 店減少。
- ・ 業種別店舗数の割合は、「飲食店」(43.0%)、「衣料品、身の回り品店等」(16.2%)、「最寄品小売店」及び「サービス店」(それぞれ 13.8%) の順に多くなっている。(図表 1-1)



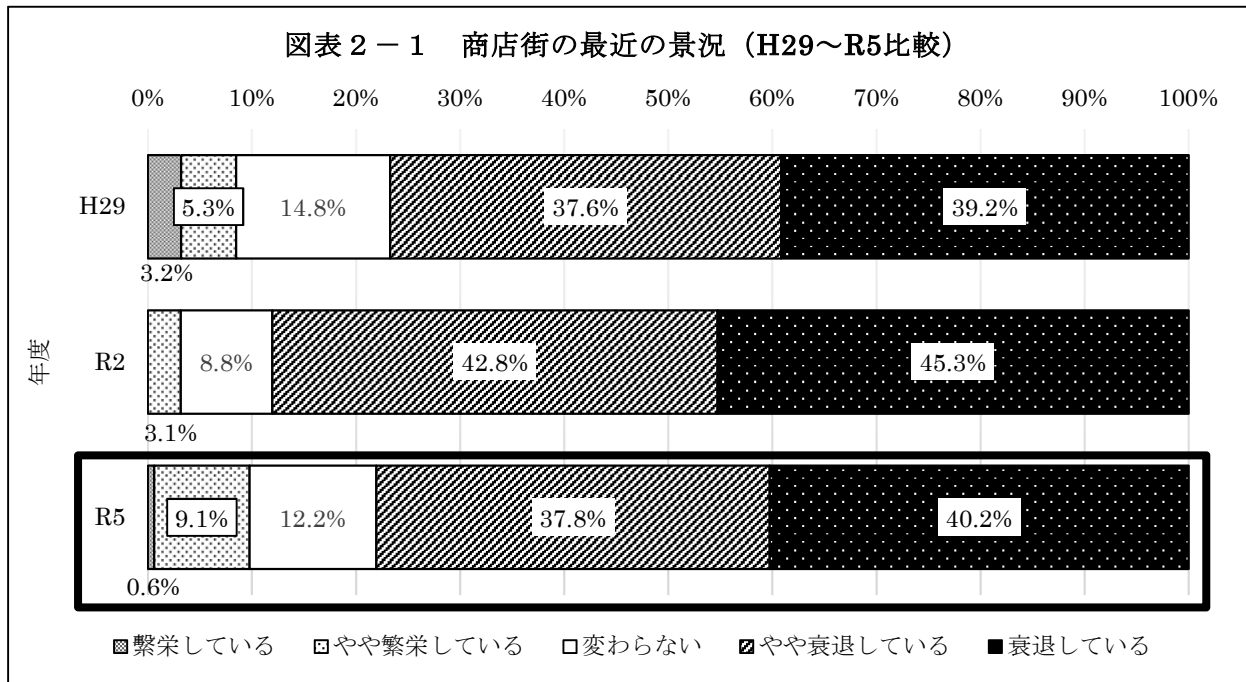
- ・ 最近 3 年間の業種別店舗数の変化を見ると、「増えた」との回答が多かった業種は、「飲食店」(18.6%)と「最寄品小売店」(11.5%)である。一方、「減った」との回答が多かった業種は、「最寄品小売店」(36.5%)と「飲食店」(35.2%)である。
- ・ 業種別店舗で「増えた」から「減った」を差し引きすると、すべての業種でマイナスとなり、最も減少幅の大きかった「衣料品、身の回り品店等」では 26.9 ポイント減少。(図表 1-2)



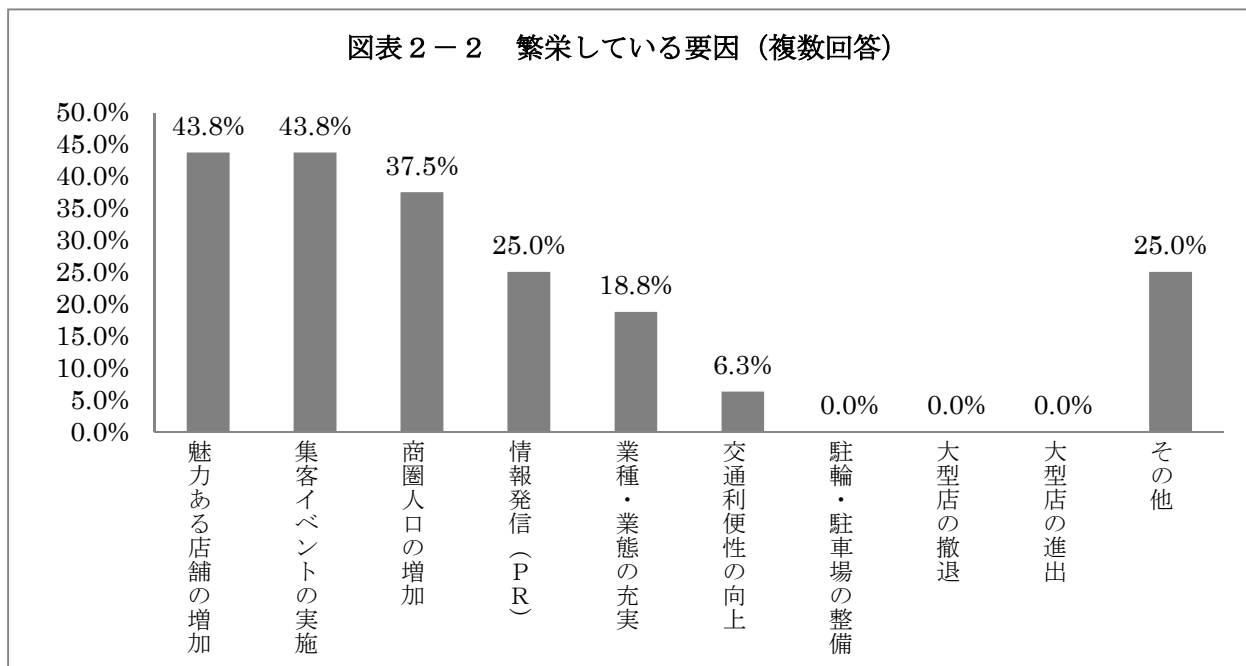
### (2) 商店街の現況と課題

#### ① 商店街の景況

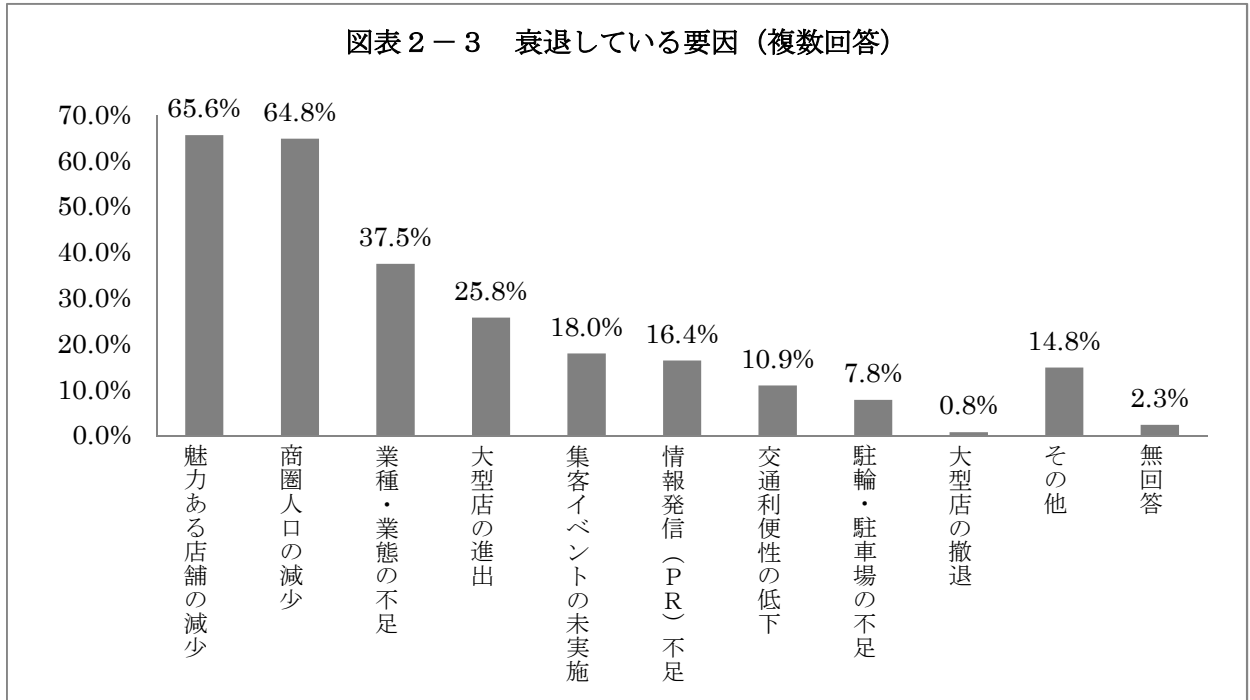
- ・ 商店街の最近の景況は、「繁栄している」が 0.6%、「やや繁栄している」が 9.1%となった。一方、「衰退している」が 40.2%、「やや衰退している」が 37.8%となり、2つ合わせて 78.0%と全体の約 8 割を占めている。
- ・ 直近調査との比較では、「繁栄している」又は「やや繁栄している」と回答した商店街の割合は、平成 29 年度調査では 8.5%、前回調査では 3.1%であったことに対して、今回調査では 9.7%と、前回調査から 6.6 ポイント増加した。  
一方、「衰退している」又は「やや衰退している」と回答した商店街の割合は、平成 29 年度調査では 76.8%、前回調査では 88.1%であったことに対して、今回調査では 78.0%と、前回調査から 10.1 ポイント減少した。
- ・ 各年度調査を比較すると、今回調査の比率は、コロナ禍前となる平成 29 年度調査の比率に近い。(図表 2-1)



・「繁栄している」又は「やや繁栄している」商店街における繁栄の要因は、「魅力ある店舗の増加」、「集客イベントの実施」（それぞれ43.8%）、「商圈人口の増加」（37.5%）が上位を占めている。（図表2-2）

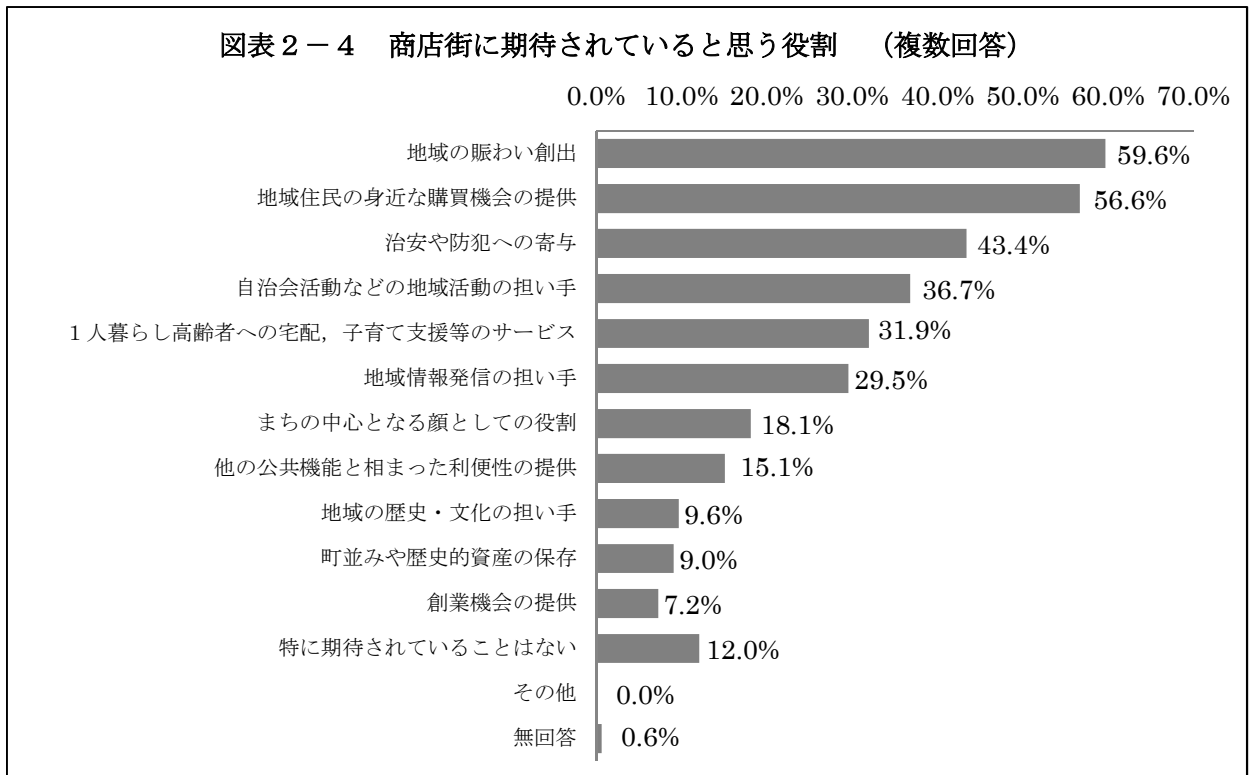


- ・一方、「衰退している」又は「やや衰退している」商店街における衰退の要因は、「魅力ある店舗の減少」(65.6%)、「商圈人口の減少」(64.8%)、「業種・業態の不足」(37.5%)が上位を占めている。(図表2-3)



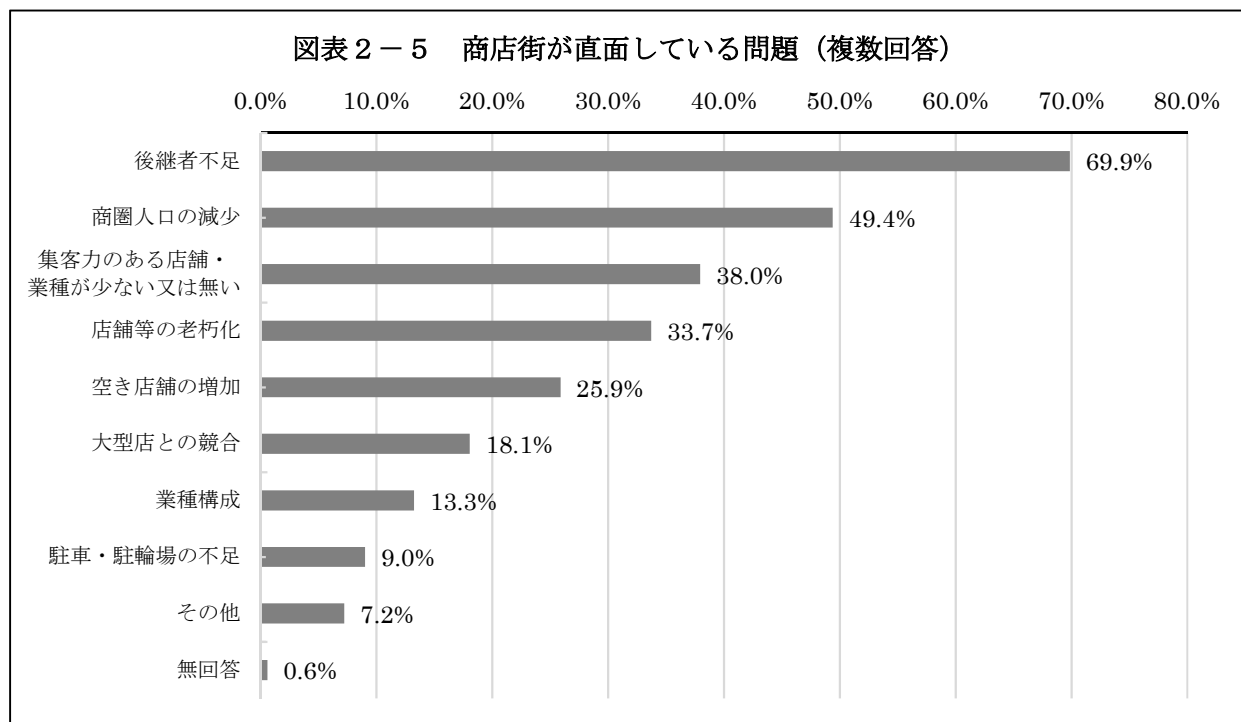
② 商店街の役割

- ・商店街に期待されていると思う役割は、「地域の賑わい創出」(59.6%)が最も多く、次いで「地域住民の身近な購買機会の提供」(56.6%)、「治安や防犯への寄与」(43.4%)となっている。(図表2-4)



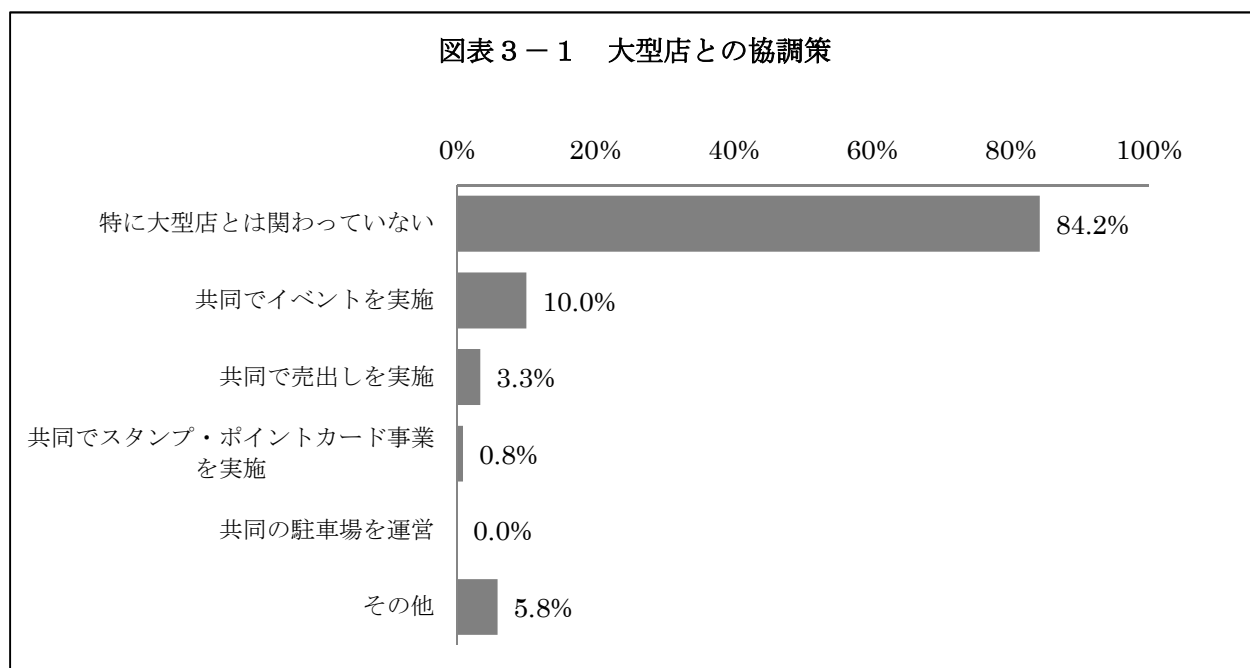
### ③ 商店街が直面している問題

- ・商店街が直面している問題は、「後継者不足」(69.9%)が最も多く、次いで「商圈人口の減少」(49.4%)、「集客力のある店舗・業種が少ない又は無い」(38.0%)となっている。  
(図表2-5)

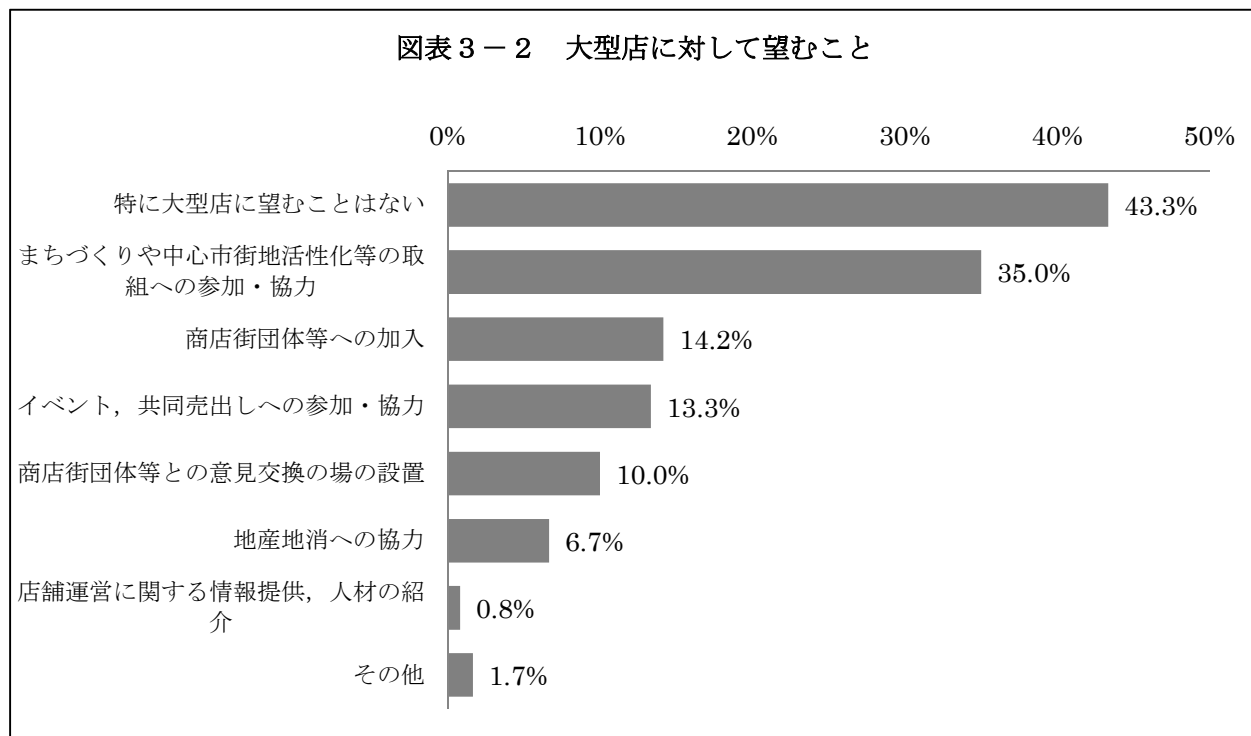


### (3) 大型店との関係について

- ・商店街の周辺(概ね1.5km以内)に立地している大型店(売場面積1,000㎡超)との協調策については、「特に大型店とは関わっていない」商店街が84.2%となった。
- ・協調策を実施している商店街では、「共同でイベントを実施」が10.0%と最も多くなっている。  
(図表3-1)

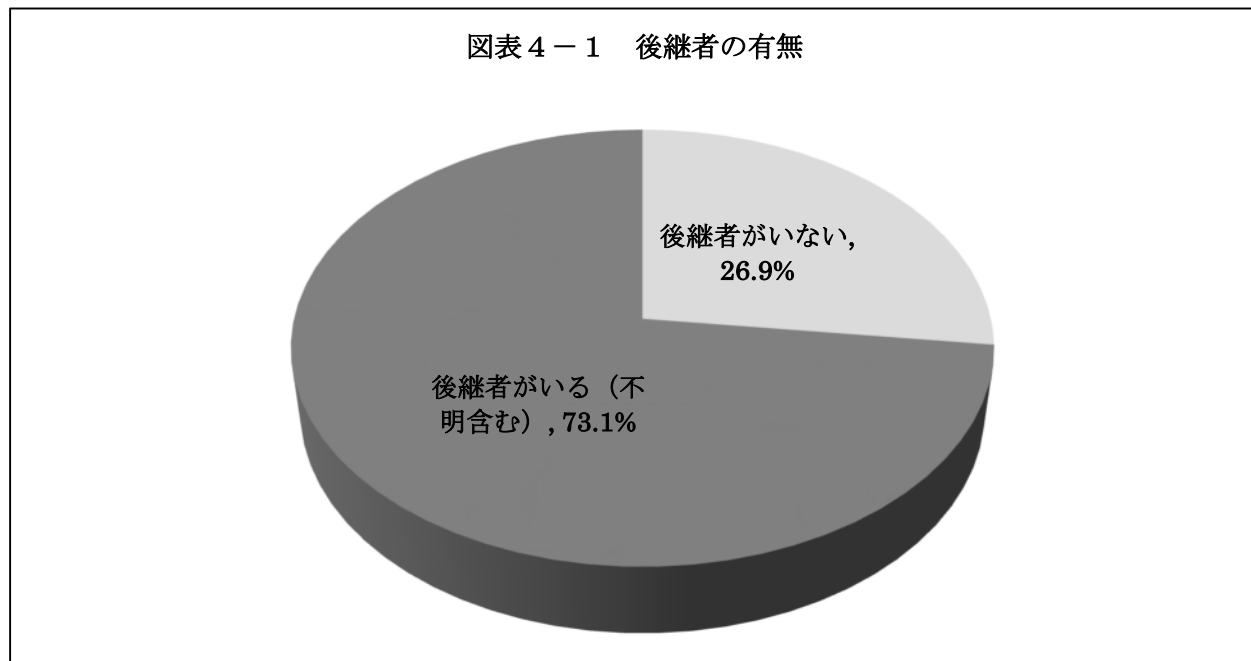


- ・商店街が大型店に対して望むことについては、「特に大型店に望むことはない」(43.3%)が最も多く、次いで「まちづくりや中心市街地活性化等の取組への参加・協力」(35.0%)、「商店街団体等への加入」(14.2%)となっている。(図表3-2)

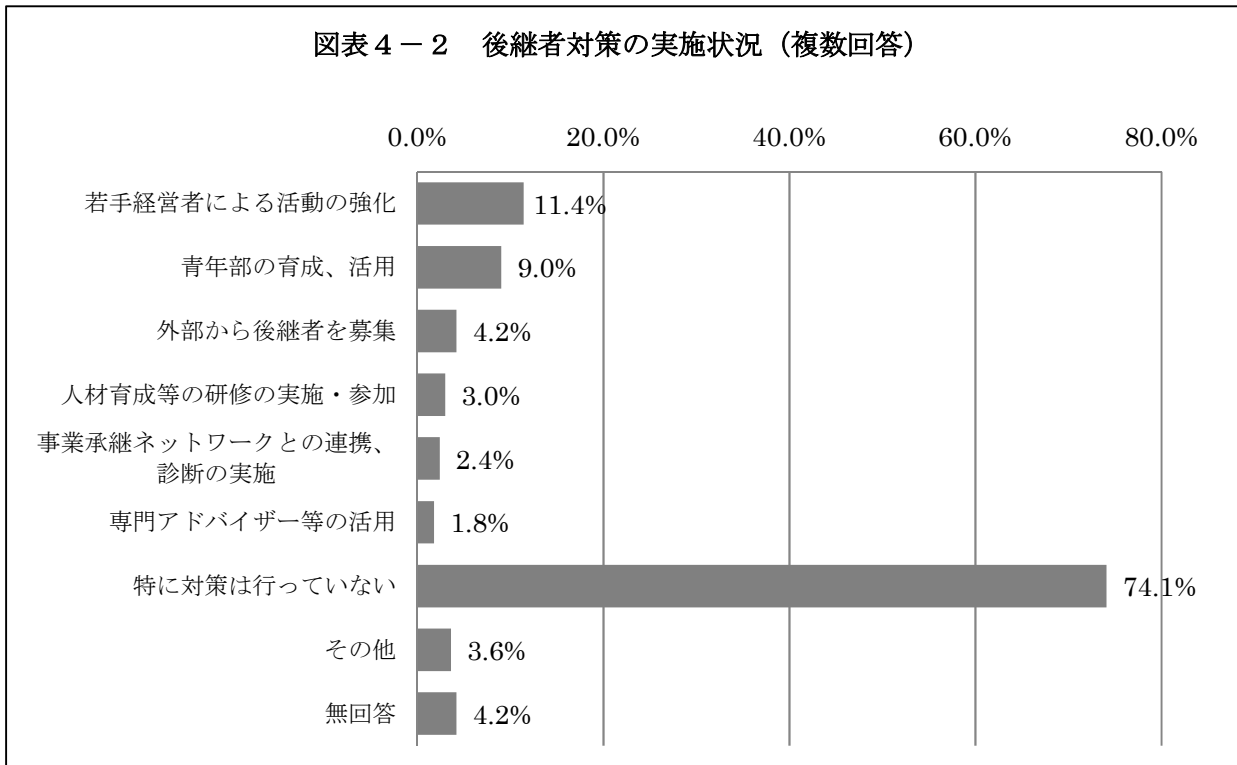


#### (4) 後継者問題について

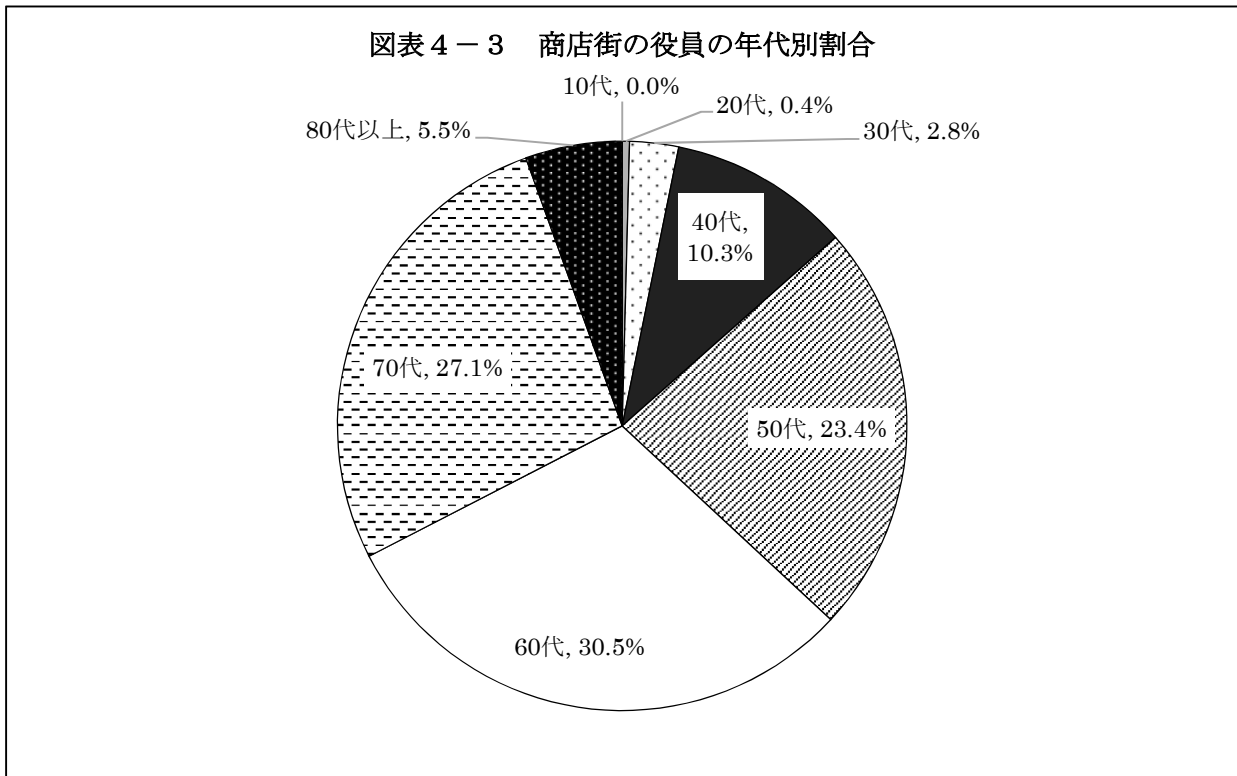
- ・営業店舗のうち、後継者がいない店舗の割合は26.9%となった。(図表4-1)



- ・商店街が行っている後継者対策については、「特に対策を行っていない」が74.1%となっている。
- ・後継者対策としては、「若手経営者による活動の強化」(11.4%)が最も多く、次いで「青年部の育成、活用」(9.0%)となっている。(図表4-2)



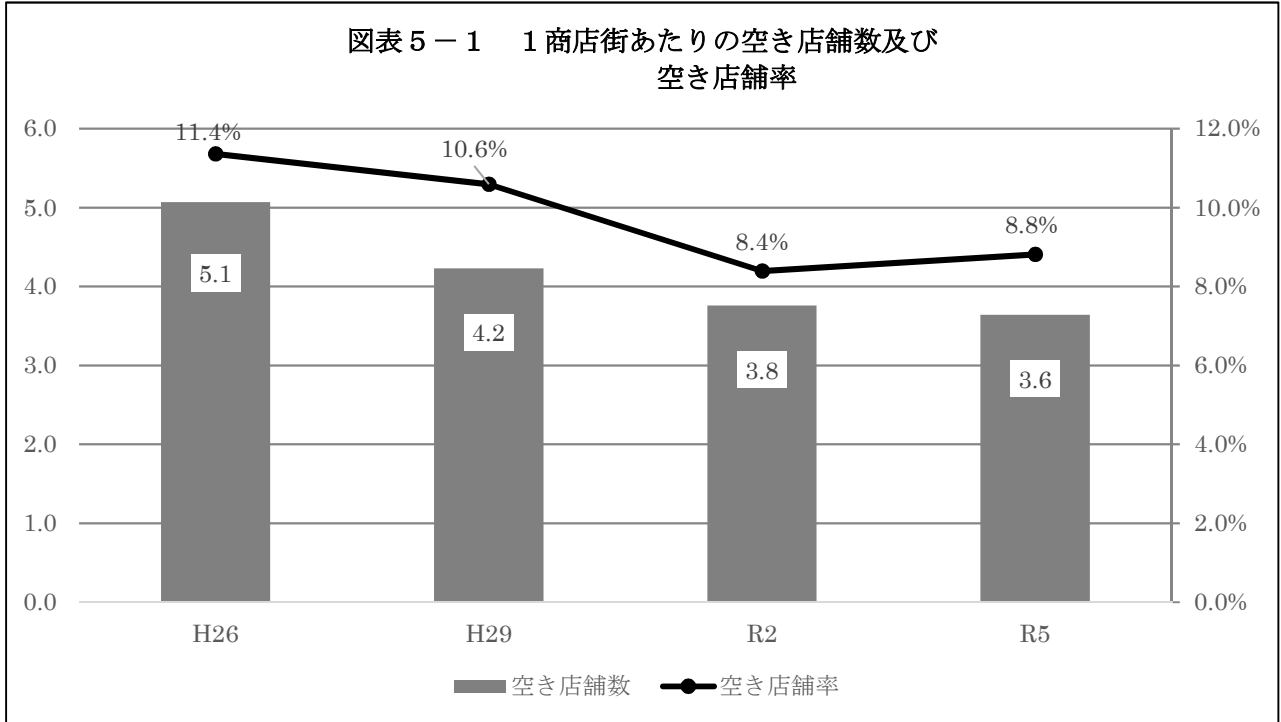
- ・商店街の役員の年代別割合については、「60代」(30.5%)が最も多く、次いで「70代」(27.1%)、「50代」(23.4%)となっている。
- ・一方、「20代」が0.4%、「30代」が2.8%と若年層の役員も見られた。(図表4-3)



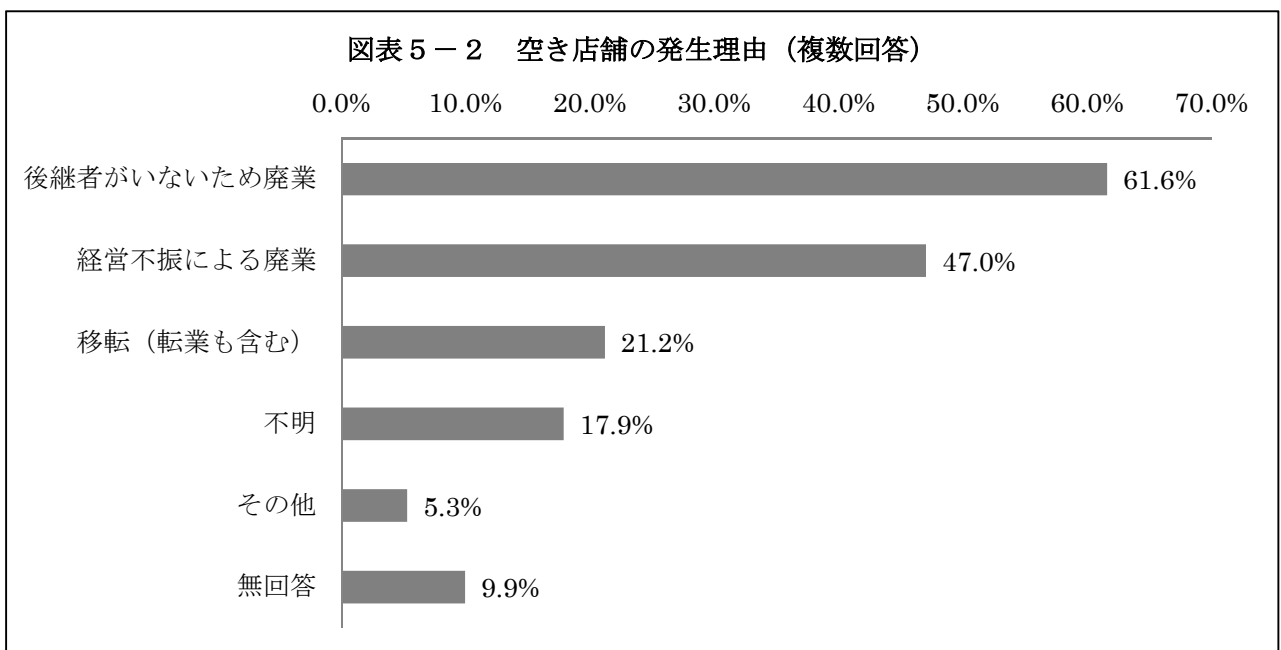
**(5) 空き店舗の状況と対策について**

① 空き店舗の状況

- ・ 1 商店街あたりの空き店舗数は 3.6 店で、前回調査の 3.8 店から 0.2 店減少した。また、空き店舗率は 8.8% となり、前回調査の 8.4% から 0.4 ポイント増加した。
- ・ 各年度調査を比較すると、前回調査までは平均空き店舗数、空き店舗率ともに減少していたものの、今回調査では空き店舗率が増加した。(図表 5-1)  
 なお、今回調査における 1 商店街あたりの平均店舗数は 39.9 店で、前回調査の 43.2 店から 3.3 店減少している。

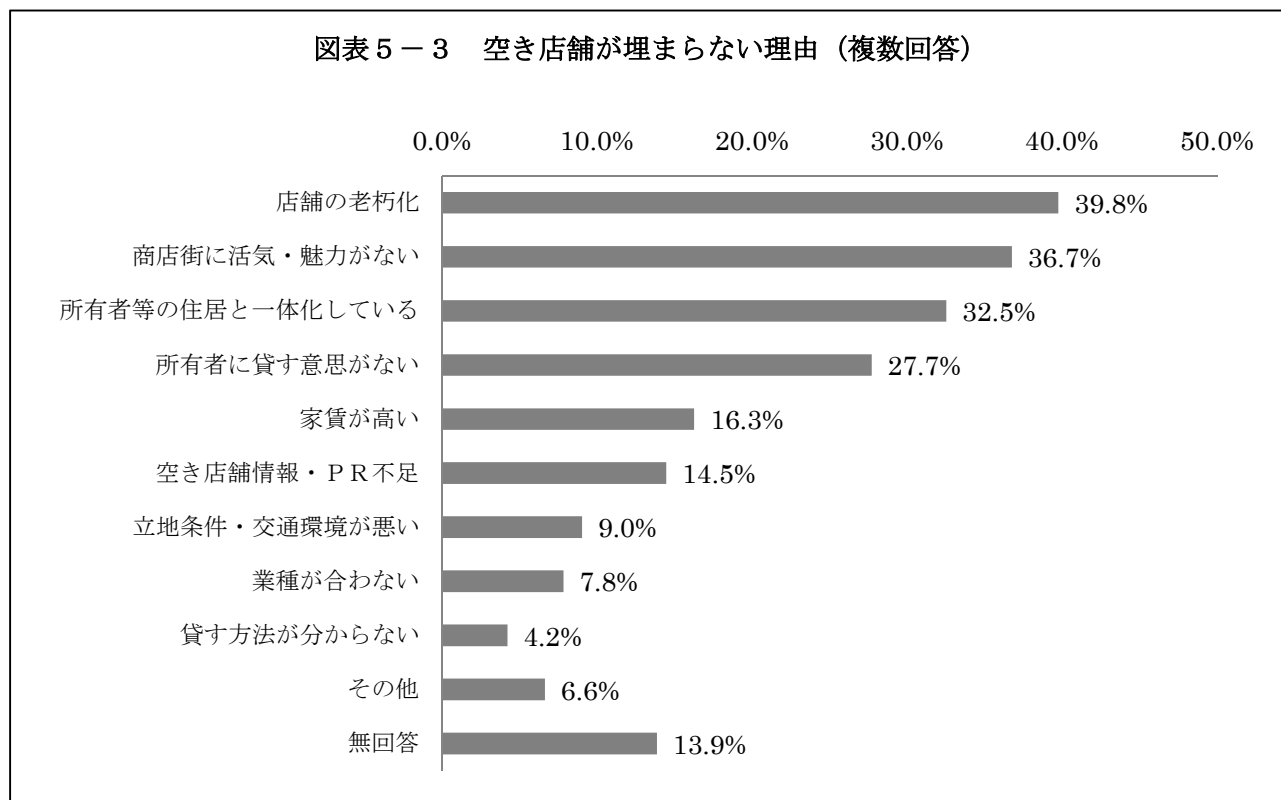


- ・ 空き店舗の発生理由は、「後継者がいないため廃業」(61.6%) が最も多く、次いで「経営不振による廃業」(47.0%) となっている。(図表 5-2)



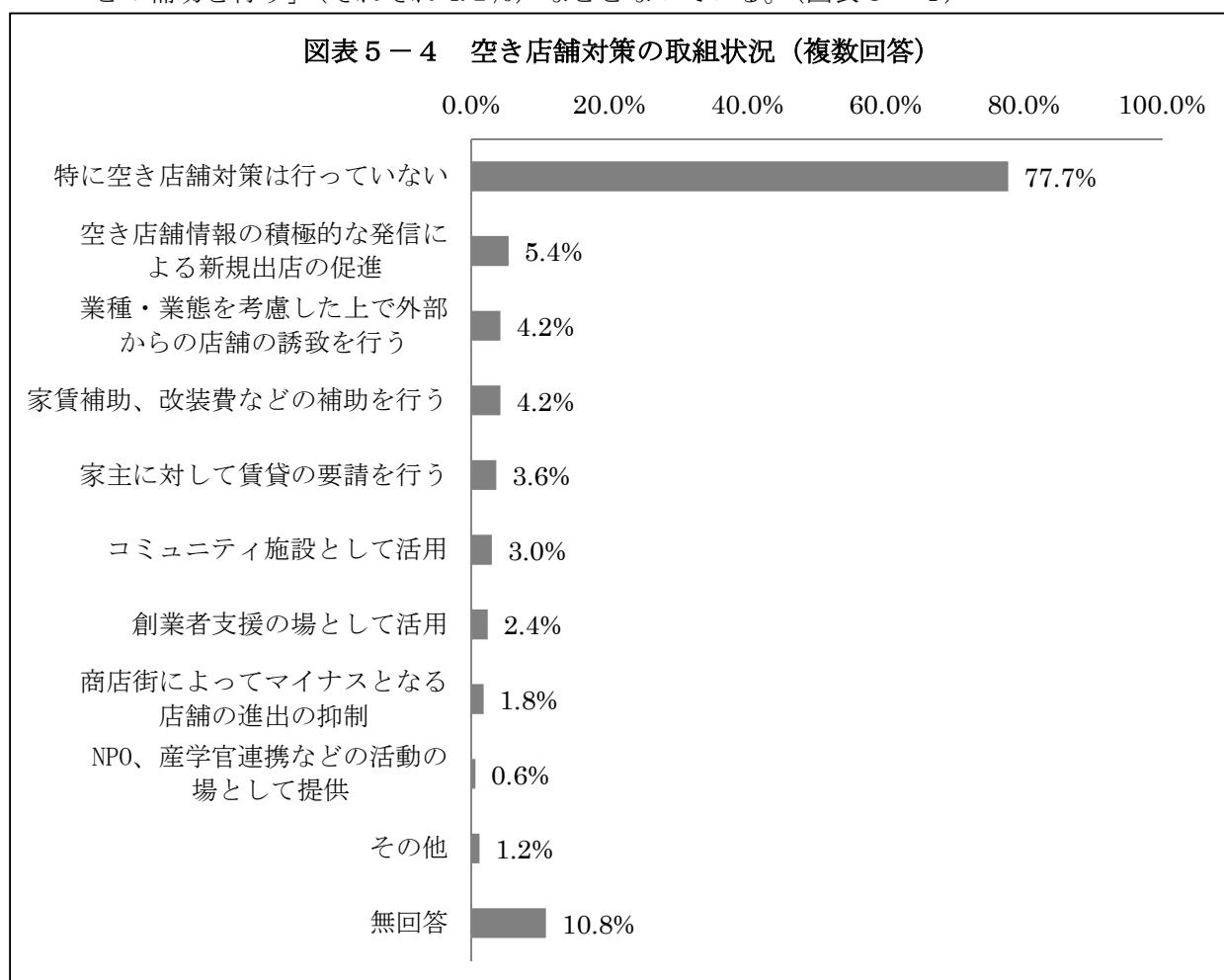


- ・空き店舗が埋まらない理由は、「店舗の老朽化」(39.8%)が最も多く、次いで「商店街に活気・魅力がない」(36.7%)、「所有者等の住居と一体化している」(32.5%)となっている。  
(図表5-3)

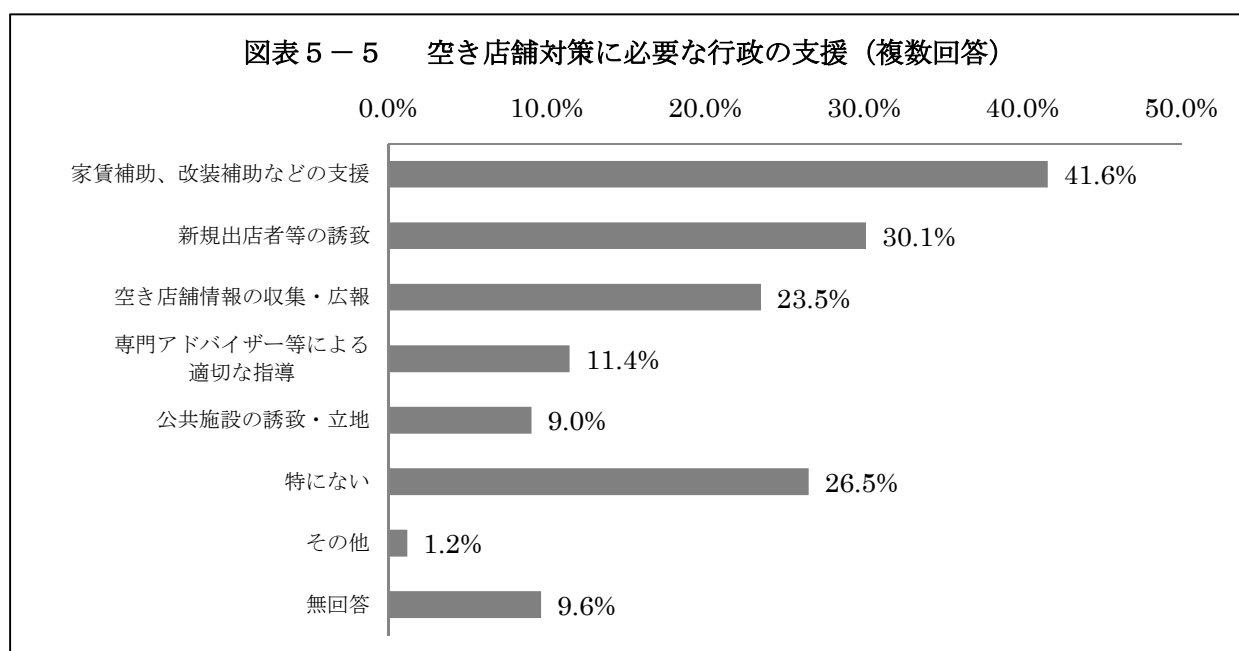


## ② 空き店舗対策

- ・77.7%の商店街では特に空き店舗対策を行っていない。
- ・実施している対策の内容としては、「空き店舗情報の積極的な発信による新規出店の促進」(5.4%)、「業種・業態を考慮した上で外部からの店舗の誘致を行う」、「家賃補助、改装費などの補助を行う」(それぞれ4.2%) などとなっている。(図表5-4)

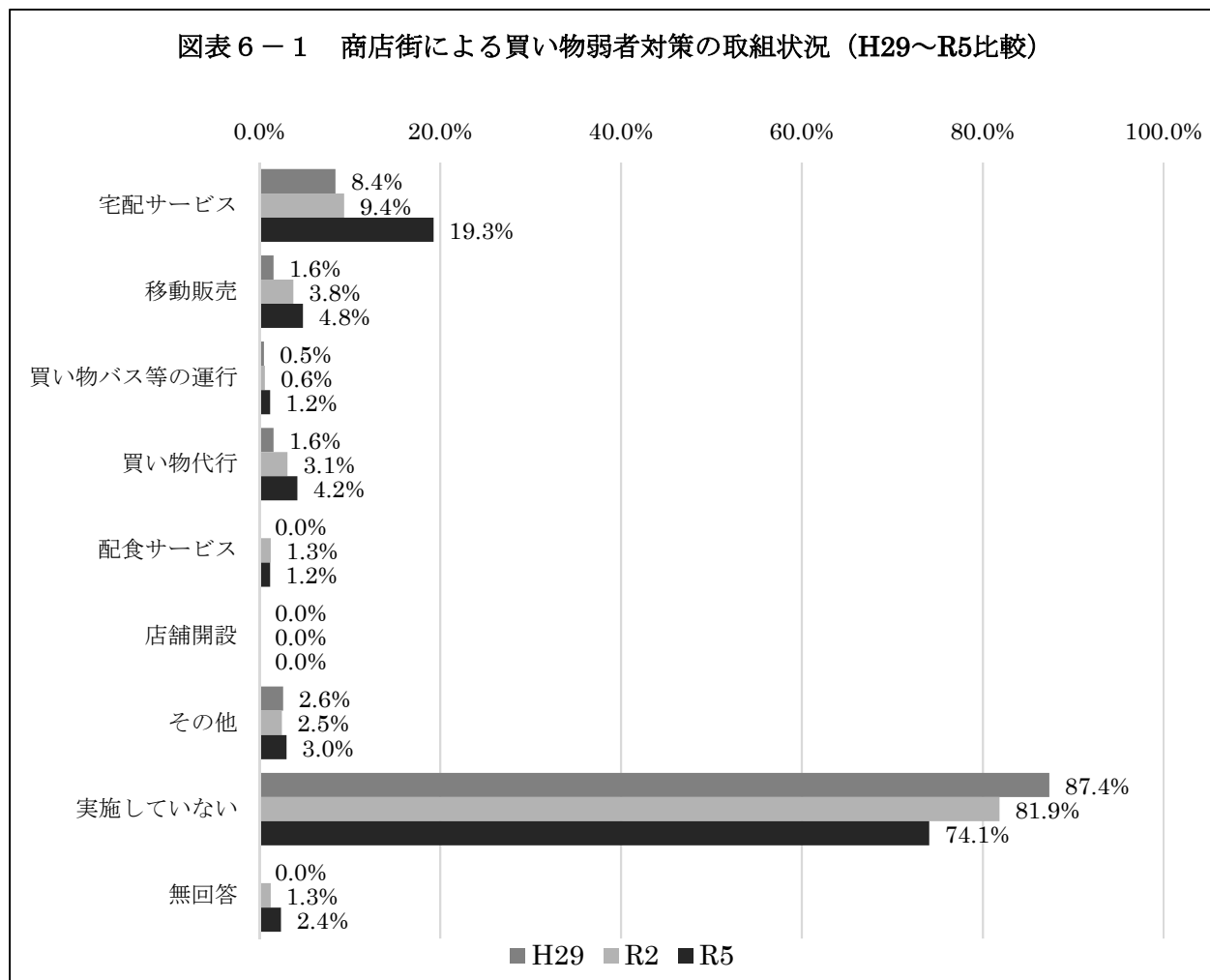


- ・空き店舗対策に必要な行政の支援については、「家賃補助、改装補助などの支援」(41.6%)が最も多く、次いで「新規出店者等の誘致」(30.1%)、「空き店舗情報の収集・広報」(23.5%)となっている。(図表5-5)

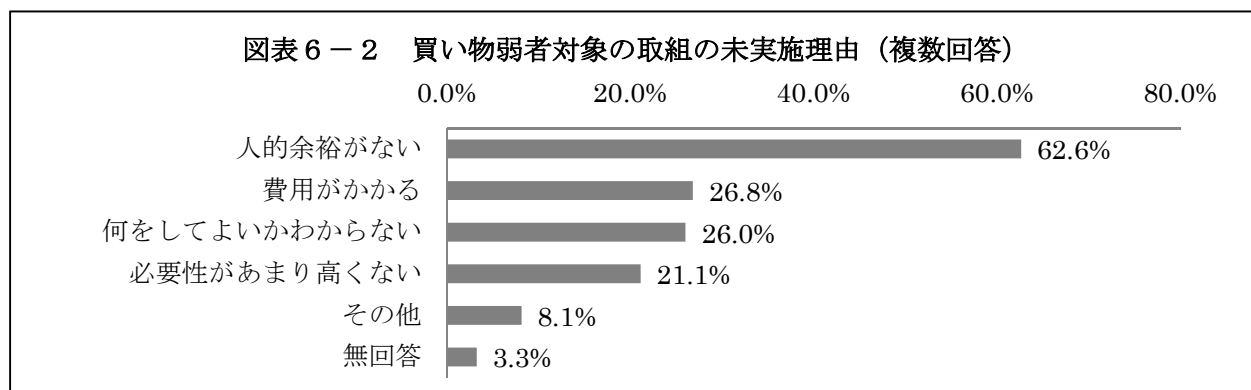


## (6) 買い物弱者対策について

- ・今回調査の結果、74.1%の商店街では買い物弱者対策を実施していない。
- ・実施している場合の対策の内容としては、「宅配サービス」(19.3%)が最も多く、次いで「移動販売」(4.8%)、「買い物代行」(4.2%)となっている。
- ・直近調査を比較すると、対策を実施していない商店街の割合は減少傾向にある。
- ・対策を実施している商店街の割合は、軒並み増加傾向にあり、前回調査からの増加率では、「宅配サービス」において最も高い。(図表6-1)



- ・買い物弱者対策を実施していない理由については、「人的余裕がない」(62.6%)が最も多く、次いで「費用がかかる」(26.8%)、「何をしてもよいかわからない」(26.0%)となっている。(図表6-2)

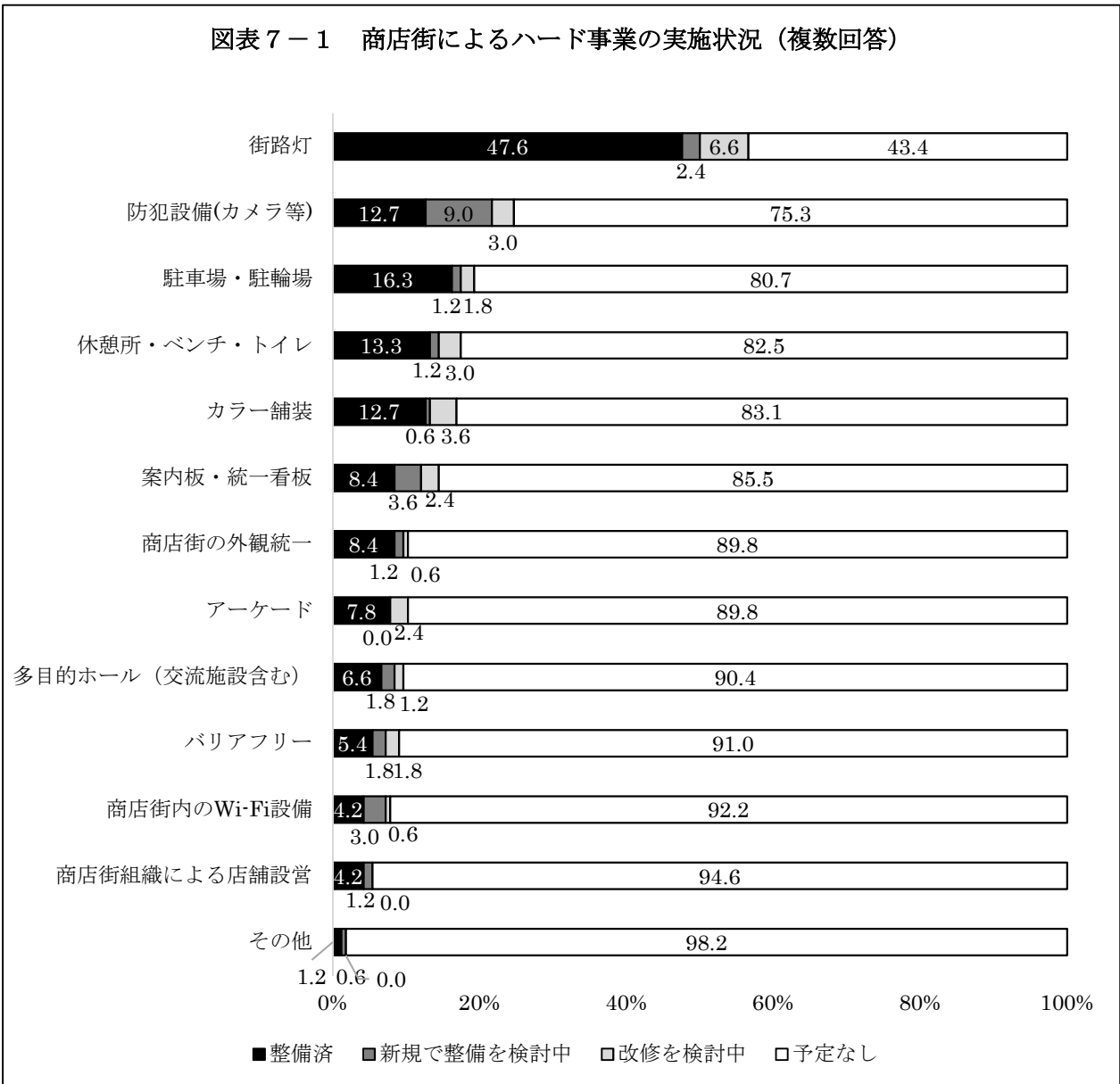


(7) 商店街の活性化に向けた取組と課題について

① ハード事業の実施状況

- ・商店街が実施済のハード事業は、「街路灯」(47.6%) が最も多く、次いで「駐車場・駐輪場」(16.3%)、「休憩所・ベンチ・トイレ」(13.3%) となっている。
- ・新規で実施を検討中のハード事業は、「防犯設備(カメラ等)」(9.0%) が最も多く、次いで「案内板・統一看板」(3.6%)、「商店街内のWi-Fi設備」(3.0%) となっている。
- ・改修を検討中のハード事業としては、「街路灯」(6.6%) が最も多く、次いで「カラー舗装」(3.6%)、「防犯設備(カメラ等)」、「休憩所・ベンチ・トイレ」(それぞれ3.0%) となっている。(図表7-1)

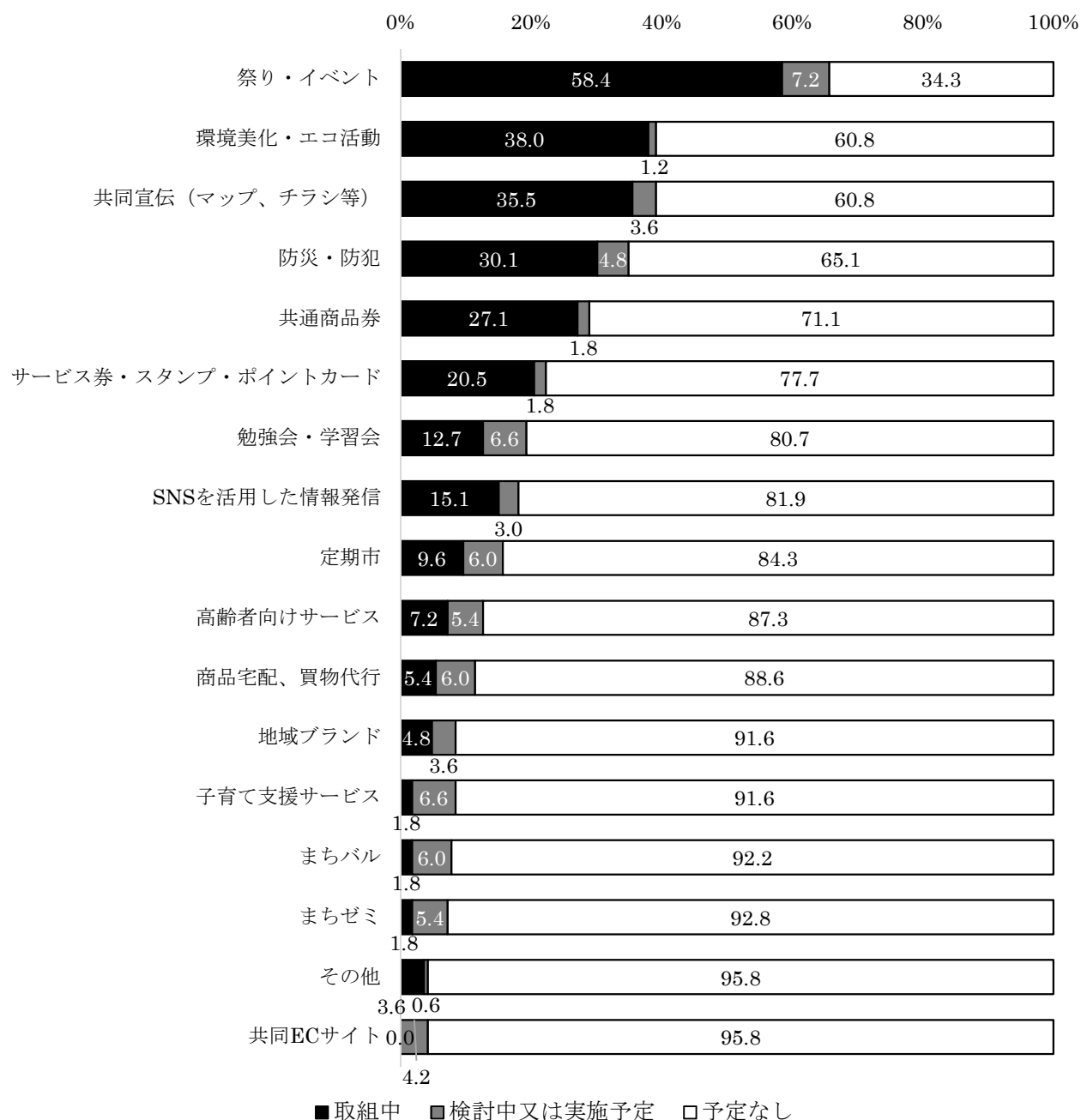
図表7-1 商店街によるハード事業の実施状況(複数回答)



## ② ソフト事業の実施状況

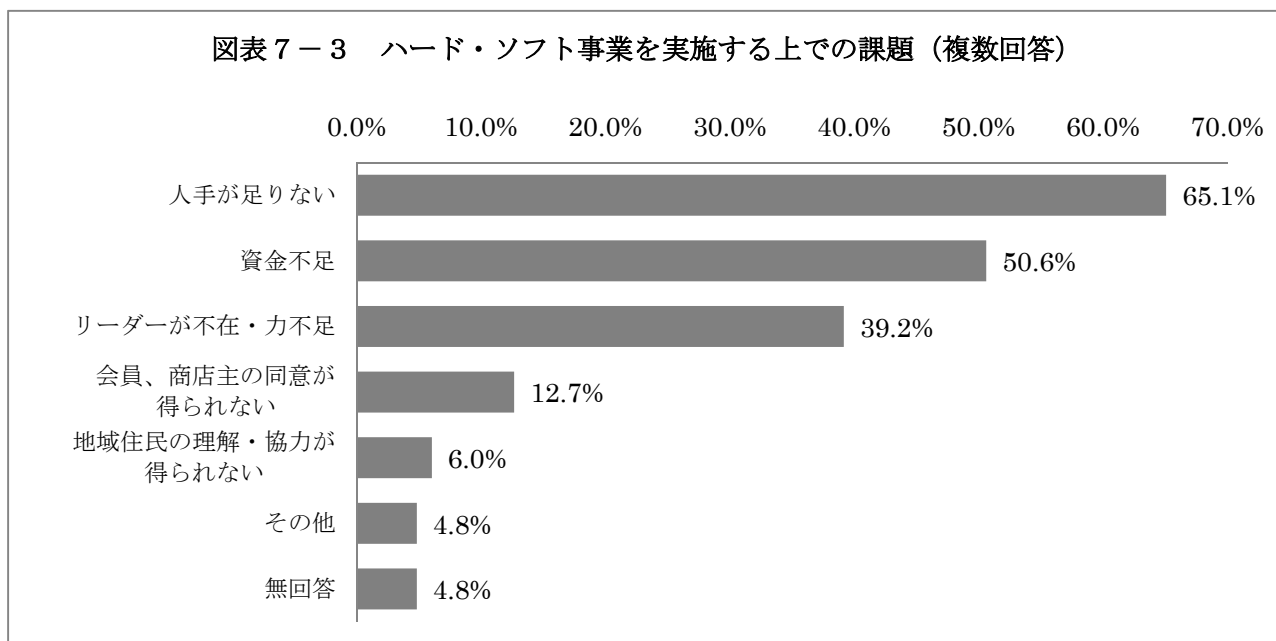
- ・商店街が実施しているソフト事業は、「祭り・イベント」(58.4%)が最も多く、次いで「環境美化・エコ活動」(38.0%)、「共同宣伝(マップ、チラシ等)」(35.5%)となっている。
- ・検討中又は実施予定のソフト事業としては、「祭り・イベント」(7.2%)が最も多く、次いで「勉強会・学習会」、「子育て支援サービス」(それぞれ6.6%)、「定期市」、「商品宅配、買物代行」、「まちバル」(それぞれ6.0%)となっている。(図表7-2)

図表7-2 商店街によるソフト事業の実施状況(複数回答)



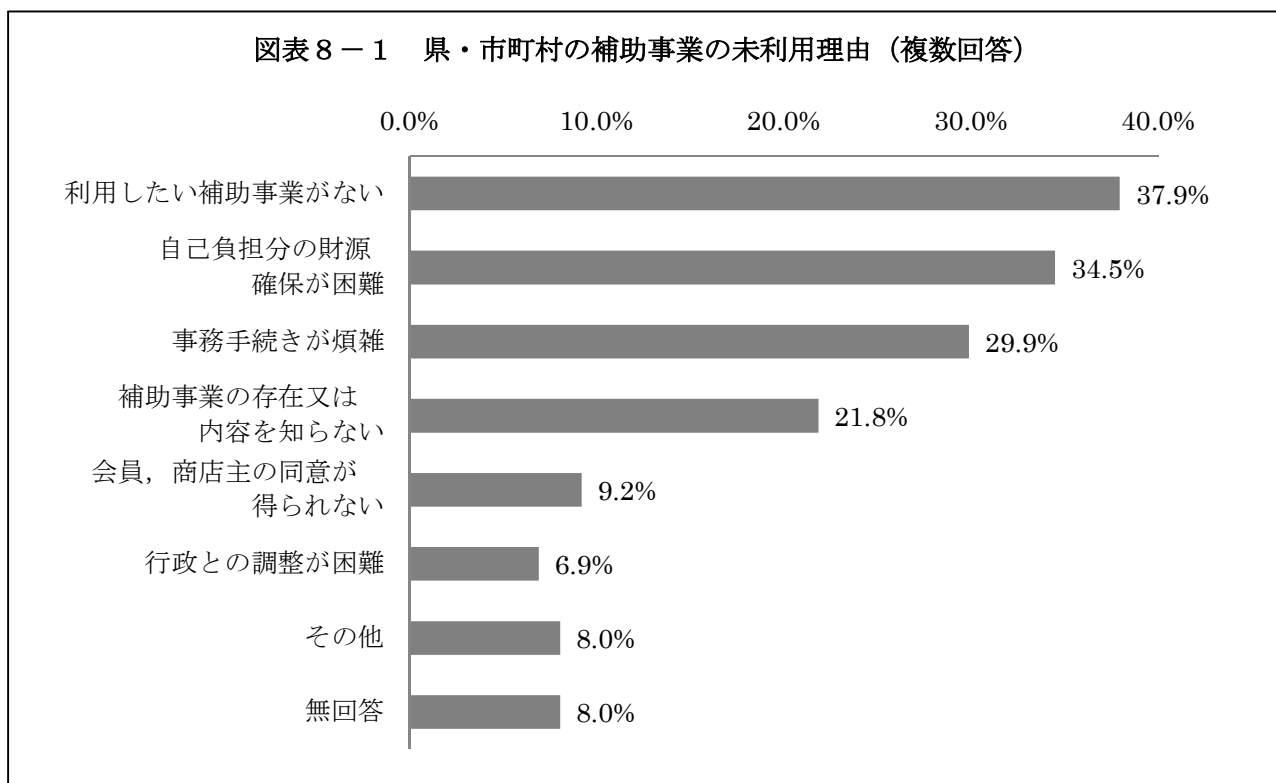
### ③ ハード・ソフト事業の実施に当たっての課題

- ・ハード・ソフト事業の実施に当たっての課題は、「人手が足りない」(65.1%)が最も多く、次いで「資金不足」(50.6%)、「リーダーが不在・力不足」(39.2%)となっている。  
(図表7-3)

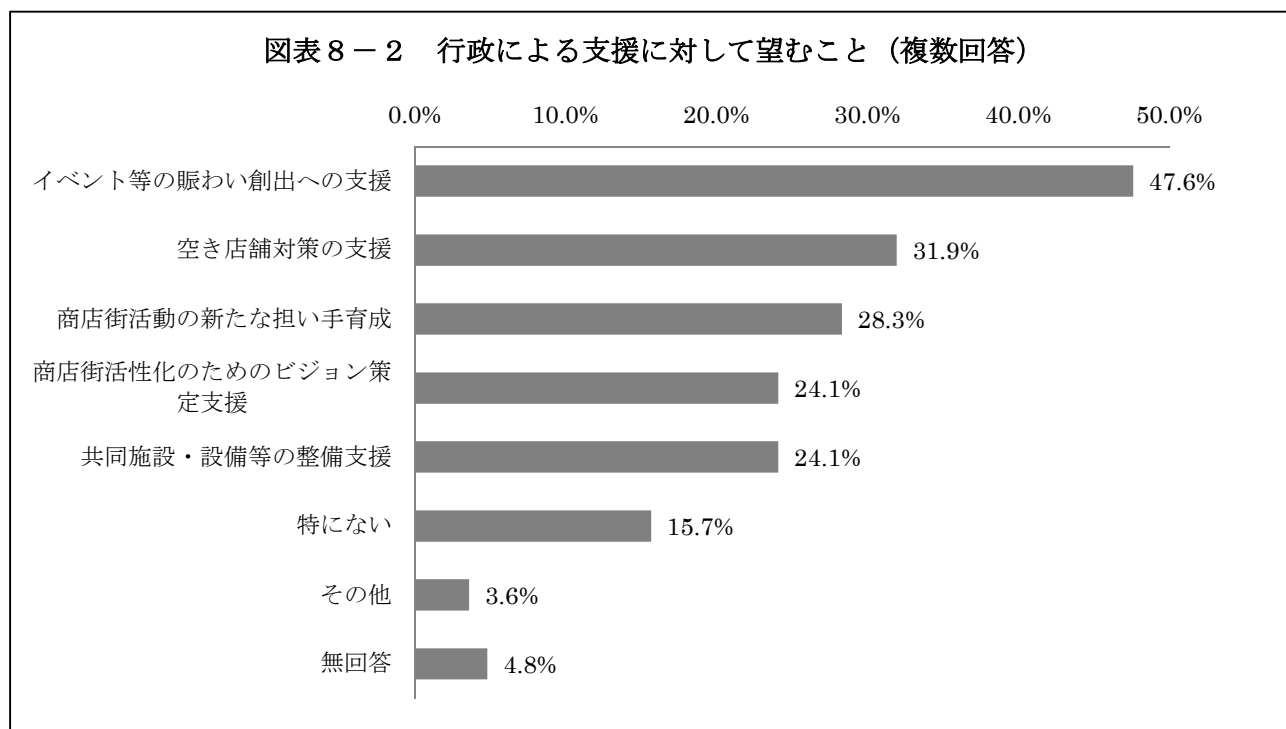


### (8) 行政の支援について

- ・過去5年間に、県・市町村の補助事業を利用したことがある商店街は、回答があった160のうち約半数の73商店街となった。
- ・補助事業を利用したことがない理由としては、「利用したい補助事業がない」(37.9%)が最も多く、次いで「自己負担分の財源確保が困難」(34.5%)、「事務手続きが煩雑」(29.9%)となっている。(図表8-1)

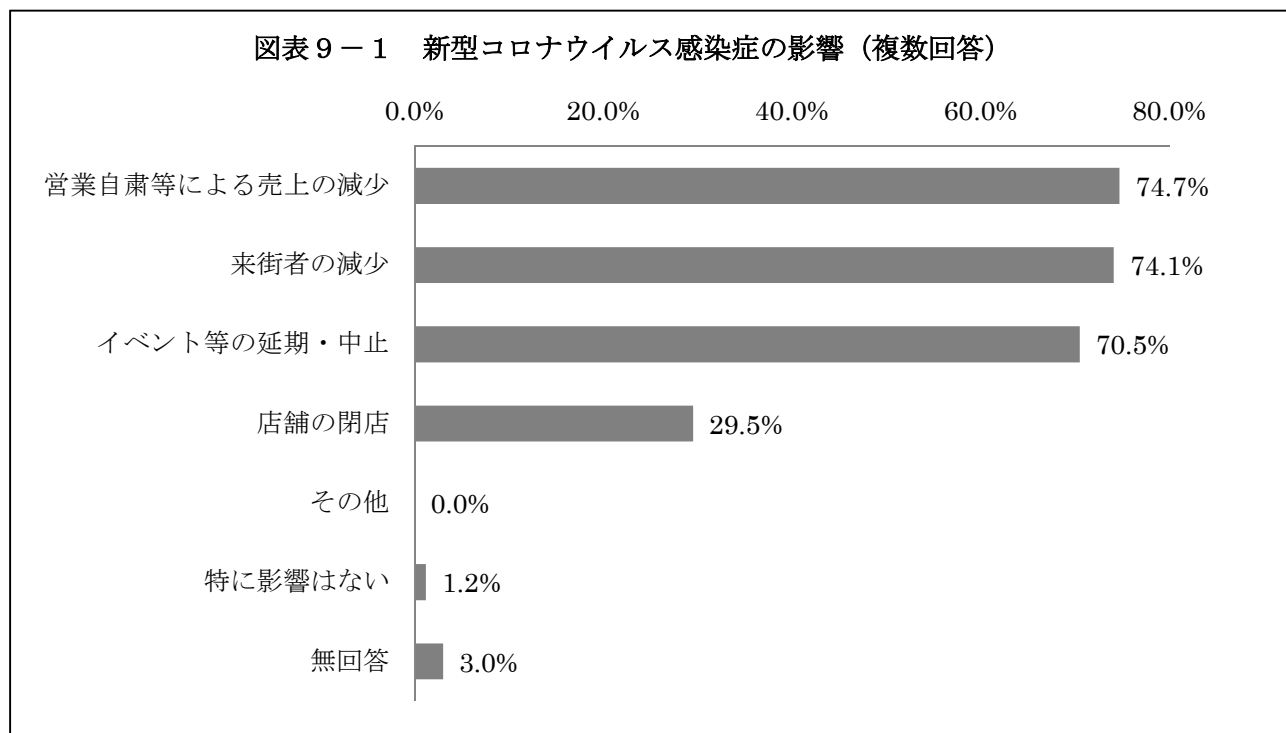


- ・行政による支援に対して望むことは、「イベント等の賑わい創出への支援」(47.6%) が最も多く、次いで「空き店舗対策の支援」(31.9%)、「商店街活動の新たな担い手育成」(28.3%) となっている。(図表 8-2)



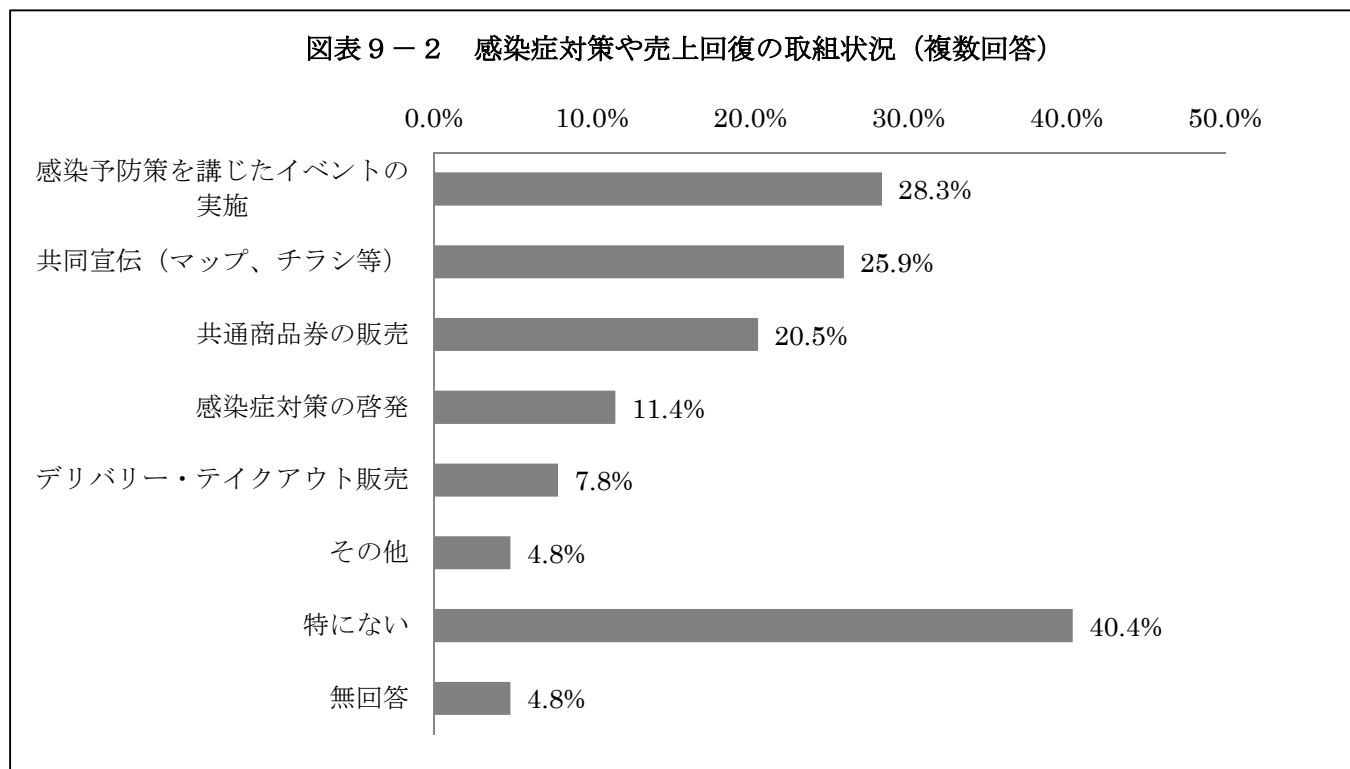
### (9) 新型コロナウイルス感染症の影響について

- ・新型コロナウイルス感染症流行による影響については、「営業自粛等による売上の減少」(74.7%) が最も多く、次いで「来街者の減少」(74.1%)、「イベント等の延期・中止」(70.5%) となったほか、約 3 割の商店街では閉店が生じている。(図表 9-1)



- ・商店街が感染症対策や売上回復のために実施している取組は、「感染予防策を講じたイベントの実施」(28.3%)が最も多く、次いで「共同宣伝(マップ、チラシ等)」(25.9%)、「共通商品券の販売」(20.5%)となっている。
- 一方、特に取組をしていない商店街は40.4%となっている。(図表9-2)

図表9-2 感染症対策や売上回復の取組状況(複数回答)



【本件お問い合わせ先】

宮城県 経済商工観光部 商工金融課 商業振興班

電話：022-211-2746 / FAX：022-211-2749

メール：syokokins@pref.miyagi.lg.jp